

令和元年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生日	業種	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	大館	1月	新聞販売業 (8-2-5)	70歳代 (5~10年)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	新聞配達のため市道を歩いて横断していた被災者が、直進してきた軽自動車にはねられ、病院に搬送され療養していたものの、その後、死亡した。
2	大館	4月	一般貨物 自動車運 送業 (4-3-1)	40歳代 (20~30年)	その他	起因物なし	関東方面に向かいトラックを運転中、福島県内の高速道路上で体調が悪化し、路肩に停車させていたところを発見され、病院に搬送されたが、急性心筋梗塞のため死亡した。
3	大曲	7月	農業 (6-1-1)	60歳代 (1年未満)	激突され	フォークリフ ト	会社敷地内のアスファルト路面の路肩から約60センチメートル下の水田にフォークリフトとともに転落し、フォークリフトに頭部を強打して意識を失い、窒息により死亡した。
4	秋田	8月	新聞販売 業 (8-2-5)	40歳代 (20~30年)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温環 境	新聞配達業務のため市道を原付バイクで走行中、熱中症を発症した。病院に搬送され治療を受けたものの、その後、死亡した。台風接近の影響でフェーン現象が発生したため、熱中症を発症した午前4時ごろの気温は30度に達していた。
5	秋田	11月	電気通信 工事業 (3-3-1)	40歳代 (20~30年)	激突され	その他の動力 クレーン等	電線張替え工事において、高さ21mの鉄塔上で、電線に取り付けた部品を回収するため、滑車をロープで固定し、その滑車に曳航用ロープを通し、ウインチで曳航用ロープを巻き取っていたところ、滑車を固定していたロープが破断し、その近くにいた被災者に曳航用ロープが激突し、内臓に損傷を受け、病院に搬送され療養していたものの、その後、死亡した。